

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	造園植栽論					授業形態	講義		
科目コード	238700	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	関西 剛康								
授業概要	<p>本授業は、進歩し続ける造園空間を形成する主要素である造園植栽に関する知識と技術を学ぶものである。授業の内容は、その基礎的知識から最新の植栽技術までを対象に、都市緑地から都市公園や庭園空間の用途に応じた植栽知識やデザイン手法、そのテーマ性から計画・設計・施工・維持管理といった一連のプロセスについての総論的な講義を行う。</p> <p>また、教員は技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、造園設計事務所において国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画した20年間の経験がある。それらのキャリアを含めて、教員が実際に計画設計した造園作品の具体的な事例を解説しながらも授業を進める（現在は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会会長ほか多数を歴任）。</p>								
関連する科目	<p>本授業の履修前には「環境園芸概論」「環境園芸実験実習Ⅰ」「環境園芸実験実習Ⅱ」「造園学概論」を、本授業の履修後には「敷地計画論」「都市緑地論」を受講することが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>①授業は、テキスト代わりに配布するプリント資料（第1～4章で構成、約80頁）と、パワーポイントによるスライドをもとに行う。</p> <p>②順番に受講生にテキストを音読してもらい、教員が解説を行う方式で授業する。</p> <p>③テキスト内の重要なキーワードは穴埋め式となっており、授業進捗に伴いスライド上で示して伝えるので書き写すこと。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>ガイダンス （講義全体の概要、評価方法について説明する）</p>								
授業計画 【第2回】	<p>第1章 植栽計画のプロセス 1.1 植栽計画の基本プロセス （植栽計画から設計・施工・管理への流れとその留意点について学ぶ）</p>								
授業計画 【第3回】	<p>第1章 植栽計画のプロセス 1.2 基本構想 1.3 基本計画 （植栽計画から設計・施工・管理への流れとその留意点について学ぶ）</p>								
授業計画 【第4回】	<p>第1章 植栽計画のプロセス 1.4 基本設計・実施設計・施工 1.5 育成管理・維持管理 （植栽計画から設計・施工・管理への流れとその留意点について学ぶ）</p>								
授業計画 【第5回】	<p>第2章 植栽による景観構成 2.1 植栽による景観構成の基礎 （植栽による景観構成の基礎とその計画について学ぶ）</p>								
授業計画 【第6回】	<p>第2章 植栽による景観構成 2.2 植栽の景観計画 （植栽による景観構成の基礎とその計画について学ぶ）</p>								
授業計画 【第7回】	<p>第3章 テーマガーデンの植栽手法 3.1 カラーガーデン 3.2 ローズガーデン （基本的なテーマガーデンの手法について学ぶ）</p>								
授業計画 【第8回】	<p>第3章 テーマガーデンの植栽手法 3.3 フレグランスガーデン 3.4 シェードガーデン （基本的なテーマガーデンの手法について学ぶ）</p>								
授業計画 【第9回】	<p>第3章 テーマガーデンの植栽手法 3.5 ウォーターガーデン 3.6 バードガーデン （基本的なテーマガーデンの手法について学ぶ）</p>								
授業計画 【第10回】	<p>第3章 テーマガーデンの植栽手法 3.7 キッチンガーデン 3.8 山野草の庭 （基本的なテーマガーデンの手法について学ぶ）</p>								
授業計画 【第11回】	<p>第3章 テーマガーデンの植栽手法 3.9 その他芝生の基本事項 （基本的なテーマガーデンの手法について学ぶ） 第4章 植栽機能について 4.1 緑陰植栽 （基本的な植栽機能の手法について学ぶ）</p>								

授業計画 【第12回】	第4章 植栽機能について 4.2 防火植栽 4.3 防風植栽 (基本的な植栽機能の手法について学ぶ)
授業計画 【第13回】	第4章 植栽機能について 4.4 防潮植栽 4.5 遮蔽植栽 (基本的な植栽機能の手法について学ぶ)
授業計画 【第14回】	第4章 植栽機能について 4.6 防音植栽 4.7 大気浄化 (基本的な植栽機能の手法について学ぶ)
授業計画 【第15回】	造園植栽の総論(纏め) (第1~4章を振り返り、造園植栽について総括)
授業の到達目標	①造園植栽の計画や実施ができる専門職業人としての自覚・意欲を修得【態度・志向性の育成】 ②造園植栽の計画や実施ができる資質・能力を学び、その実践に向けた自己の課題を把握【自己管理能力・生涯学習力】 ③造園の専門職業人として、造園植栽を理解し、造園植栽の計画や実施ができる方法を修得【職業知識・技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	①授業で配布するテキスト資料等を授業前に精読すること。 ②予習は1時間程度行うこと。
授業時間外の学修 【復習】	①授業後にさらに理解を深めるためにテキスト資料等を再度精読すること。 ②復習は1時間程度行うこと。
課題に対する フィードバック	①学期末定期試験の終了後、解説する。 ②評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説する。
評価方法・基準	①学期末試験による評価(100点) ②授業への取り組みも評価(授業態度によってはマイナス評価も行う)
テキスト	テキストは、授業の進捗にあわせてプリント(A4コピー資料：約80頁)を配布する。 (各自で紙ファイルやクリアファイルに綴じ込むことが望ましい)
参考書	①中島宏(2020)：緑化・植栽マニュアル-計画・設計から施工・管理まで-：(財)経済調査会，pp543 ②(一社)日本エクステリア学会(2019)：エクステリアの植栽：建築資料研究社，pp240 ③山本紀久(2012)：造園植栽術：彰国社，pp200
備考	